

# 令和4年高森町成人式

1月3日（月）、高森総合センター大会議室において令和4年高森町成人式が実施されました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られたため、2年ぶりの開催となった成人式には47名の新成人が出席し、新春の町内を晴れ着姿で華やかに彩りました。

式典では厳かな空気が漂う中、新成人代表者による宣誓や意見発表が行われたほか、式後半では恩師からのビデオメッセージが上映されると一変して和やかな雰囲気となり、笑いあり涙ありと盛況となりました。式典終了後には会場の外で新成人同士などとの大撮影会となり、久々に見た子どもたちの成長に驚きと喜びの声が各方面から響きました。

## 成人式実行委員の皆さん



左から宇藤歩綺さん、野尻龍馬さん、秋山紀歌さん、中山玲奈さん



## 代表者宣誓



児玉 裕大さん

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な式を催していただき誠にありがとうございます。

また、高森町町長様をはじめ、ご来賓の方々、ご出席いただきました皆様には新成人の一同心より感謝申し上げます。

成人式を迎えるにあたり、学生として勉学に励む者、社会人として仕事に勤しむ者、様々な環境の中、こうして集まりました新成人を代表し、挨拶を申し上げます。

生まれてから20年という歳月がたち、こうして今日式典に出席できたのは家族や地域の方々、先生や先輩方、友人など多くの人たちの支えがあったからだと思っています。本当に感謝しています。

昨年から続く新型コロナウイルスの影響により、様々なことが制限され、思い描いていたキャンパスライフを送ることは出来ず、友達と会えない日々が続いていたと思います。しかし、それにより、今まで当たり前であったことの貴重さに気づき、

何気ない日常の大切さを知る機会になりました。

この20年で私たちは様々な経験をし、日々成長をしてきたと思います。熊本地震をはじめ、多くの災害に見舞われ、大変な思いをして来たと思います。しかし、そんな多くの災害を乗り越えられてきたのも、地域の方々などの支えがあったからだと思います。本当に私たちは周りに恵まれているのだと実感することが出来ました。

私は、中学を卒業後、高森町を離れ高校へ進学し、今では大学進学のため神奈川へ出ました。故郷を離れ様々な経験をしていく中で、自分の故郷への有難みを実感することも多くなりました。地域の方々のやさしさ、食の大切さなど地元を離れたことで気づけることがありました。そんな中、小学校からずっと続けてきていることがあります。

それは、バドミントンです。特に中学最後の中体連は今でも鮮明に覚えていています。小学生から7人で切磋琢磨し続けてきたバドミントンで喧嘩することもあれば、みんなで涙を流すこともありました。それほど、バドミントンへの思いが強かったのだと思います。本当に良い思い出です。中学を卒業後会う機会は減ってきましたが、今でも毎年遊びに行く仲です。この7人の関係は今後も変わ

ることはないと思っています。

皆さんも20年過ごしてきた中でたくさんの思い出があると思います。これからたくさんの思い出ができて、

たくさんの方との出会いがあると思います。是非、その人々を大切にしてください。一生の宝になると思います。ですが、20歳になった私たちは立派な大人であり、一社会人です。今までは、間違ったことは大人たちがたすけてくれました。しかし、これからは、その間違い1つで、人生を変えてしまうかもしれません。ですから、一旦立ち止まっていても良いかもしれません。人生、一人では生きていきません。皆さんで助け合って生きていきましょう。

また、話は早いかもしれませんが、この先私たちが先頭に立ち社会を作っていく立場が必ずやってきます。その時、日本がどのような国になるかは想像できません。ですが、これまで様々な経験をし、そこで得た知識があります。社会に出たとき最初はつらい事ばかりかもしれませんが、でもいつか活躍するその時まで、耐え抜き自分が先頭に立った時良い社会を作りましょう。

最後になりましたが、まだまだ、未熟な私たちです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。そして、多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、成人としての決意を忘れず、力強く生きていくことを誓って新成人の挨拶とさせていただきます。